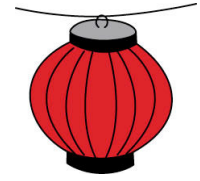


マンスリータイムズ

和歌山県立紀伊コスモス支援学校園部分校
平成21年8月号



真夏のひととき・夏祭り開催

8月に入っても連日雨が続く中、過日8月8日は、朝から快晴のお天気。絶好の夏祭り日和となり、予定どおり、園部分校・有功ヶ丘学園第4回夏祭りが行われました。北谷育友会副会長、井手学園長、三反田学校長のあいさつを皮切りに、盛大に夏祭りがスタート。カレーや焼き鳥などの食事コーナー、保護者の皆さんが工夫を凝らして準備した「ストラックボール」「スーパーボールすくい」のゲームコーナーなど、開始と同時に運動場には行列ができていました。浴衣を着て参加の子どももいて、夏祭りの雰囲気盛り上げてくれました。また、メインの「催し」として今回初めて県立和歌山高等学校柔道部のみなさんにお越しいただき、運動場の真ん中に畳を敷き詰め、「柔道」の演舞を披露いただきました。続いて顧問の先生が「誰か柔道着を着て体験してみませんか〜？」と周りに声をかけたものの、みんな恥ずかしがって身を引くばかり。そこで生徒会長が名乗り出て格好い勇姿をみせると、「ぼくも」、「私も」と次々に手を挙げ順番待ちになるほどの盛況になりました。和歌山高校のみなさんと園部の子どもたちが一体となった、楽しく思い出に残るひとときでした。そして会場全体が盛り上がりました。



当日は、卒業生たちがお世話になっている作業所の方々や近隣の方々にもお越しいただき、「地域のお祭り」として有意義な1日になったと考えています。ご協力ありがとうございました。

一方、学校周辺の皆様方には、車の出入り、マイクの音、花火の音など、夜遅くまでご迷惑をおかけしましたこととお詫びいたします。今後も、地域の皆様方とともに、楽しく、素敵な交流ができる「夏祭り」を企画して参りたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

さて、小学校・中学校には、学習上、及び生活上において「困り感」があるため、特別な支援を必要とする子どもたちが在籍していることが、文部科学省の調査でも明らかになっています。特別支援学校はそのセンター的役割を担い、その支援の方法や教材・教具の紹介、並びに教育相談等を行うことが求められています。本県、そして本校（園部分校）においても、その役割を担うべく、活動を行っています。その一環として、過日8月7日（金）に「学習交流会」と銘打って、教材教具及びその指導方法のノウハウについて交流するとともに学習会を開催しました。校区の小・中学校の先生方にお集まりいただき、実際の教材教具を手にしなが、指導方法等を交え、情報交換を行いました。とても有意義な学習会であったと考えています。今、「困っている」子どもたちのために、可能な限り努力し、今後もこのような研修会を続けて参りたいと思います。次回の開催の折には、より多くのご出席をお願いします。



9月の予定

- 14日（月）体験入学申込締切
- 18日（金）授業参観・保護者会・給食試食会（10：00～）
- 28日（月）・29日（火）第1回介護等の体験実習
- 28日（月）～10/16（金）教育実習